

第4号様式（第9条関係）

令和5年 4月 14日

日進市議会議長 宛て

議員名 川嶋 恵美

令和4年度政務活動費収支報告について

日進市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項に基づき、別紙のとおり  
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度政務活動費収支報告書

議員名 川嶋 恵美

1 収 入  
政務活動費 150,000 円

2 支 出 88,360 円

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	0	
研 修 費	88,360	セミナー・都市問題会議参加
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
合 計	88,360	

3 残 額 61,640 円

政務活動事業実績報告書

議員氏名 川嶋 恵美

令和4年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

年 月 日	事業名	事業概要及び成果等
令和4年 10月3日 ～ 4日	令和4年度 トップ マネジメント セミナー 参加	1 主催者 公益財団法人全国市町村研修財団 2 会場 全国市町村国際文化研修所 3 参加者 62名 4 概要 トップマネジメントセミナー 災害や感染症などへの対応と 質の高い地域社会の構築に向けて 別紙添付資料①の通り
令和4年 10月12日 ～14日	全国都市問題会議 in長崎	1 主催者 全国市長会 公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所 公益財団法人 日本都市センター 2 会場 出島メッセ長崎 3 参加者 2047名 4 概要 個性を活かして「選ばれる」 まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 別紙添付資料②の通り

(注) 使途基準の項目別に記載すること。

# 令和4年度 トップマネジメントセミナー

日時：10月3日～4日

会場：滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所

テーマ：大規模災害に備えて—想定外は起きる

災害に強いまちづくり

相次ぐ災難への対応と「ピンチをチャンス」に変えるまちづくり

ウエルビーイングな働き方と日本の未来

## 報告事項

元復興庁事務次官・阪神淡路大震災記念人と防災未来センター長・福島市長・(株)YeeY 共同創業者 4 人の講師から「災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて」を受講しました。

近年 30 年の間には、地震や自然災害、テロ事件、新型コロナウイルス感染症など大規模な災害が起きました。事例を通し当時の対応から見えてきた、これからの防災・減災・縮災には、つながりのあるまちづくりが一番効果的でお金もかからず、すぐにできることだとわかりました。

そんな街づくりに欠かせないのが人で、人づくりに低年齢のお子さんから絵本で教育をすることや、自分自身が一番能力を発揮できることが大切で、今からでもできるウエルビーイングな働き方は参考にしたいと思います。総括として、防災減災縮災には、自助共助地域のつながりがあるまちづくりに成功できるかどうかにかかってくる。うちは大丈夫、ここは起こらないというバイアスがかかっていることに気づくことが大事。

まちづくりをどのように進めていくか、人材育成をどのようにしていくか、日進市でできることを模索していきたいと思っています。

## 第84回全国都市問題会議

日時：10月12日～14日

会場：長崎県長崎市 出島メッセ長崎

テーマ：個性を生かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～

第1日 10月13日(木)

【コーディネーター】東京都立大学法学部教授 大杉 覚

【パネリスト】ゆとり研究所所長 野口 智子

山梨大学生命環境学部教授 田中 敦

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也

兵庫県伊丹市長 藤原 保

基調講演 民間主導の地域創生の重要性

株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長

高田 旭人 1. ジャパネットと地方創生 36年前小さな

カメラ店としてスタートし、ラジオを使った新しいショッピングの形を生んだ。お父さんから「見つける」「磨く」「伝える」ことを今でも受け継いでいる。まだ誰も気づいていない地域の魅力的な資源を見つけそれを徹底的に磨き上げ、全国各地の方に伝えていくことで、長崎の活性化に貢献できると考えている。

2. 行政と民間の役割の違い 行政は皆が平等公平に恩恵を受けられる環境を目指すのに対し、民間企業は社会全体における幸せの総量を増やす「幸福の最大化」が役割だと思っている。公平性に左右されない民間企業だからこそ、行政にはできない思い切った取り組みをする必要がある。

3. 長崎スタジアムシティプロジェクトへの想いと目指すところ 転出超過が続く地域は「遊ぶところがない」「やりたい仕事がない」など声がある。目の前にある素晴らしい物を磨きをかけ工夫を凝らし伝えていくことで、「長崎は楽しそう」「長崎に行ってみよう」と思ってもらえると思う。出ていなくても仕事ができるまちを目指す。

4. 長崎スタジアムシティプロジェクトで実行するアイデア お父様から会社を引き継いで、オフィスの断捨離を行った。書類をまとめ探す時間など無駄を省く、会議が多すぎて考える時間がなかったことで、会議禁止時間を設ける、週3回はノー残業デー、16連休を年に2回とらなければいけない、全部自分の仕事をさらけ出すことで、相手の仕事ができることなどから、離職率が減り、社員の仕事効率も上がった。プロジェクトの内容は、利用する人・運営する人・長崎市にとってもWIN WINな工夫が満載で、「今を生きる楽しさ」を増やしていきたいとの考えを示された。

5. 行政に期待すること 民間企業として、長崎での地方創生の成功モデルを横展開し、日本全国の発展へ貢献できることを目指す。行政でしかできないこともあるため、「地域を活性化させる」という同じゴールの絵をもって、一緒に理想の地域創生を実現したい。

主報告 長崎市の魅力あるまちづくり

長崎県長崎市長 田上 富久

「価値を見つける」「価値に気づく」「価値を磨く」「価値を生み出す」この4つの視点で、その町に根づき、暮らす「土の人」と、その町を訪れる「風の人」が交流することで、暮らしている中では見つけにくい新たな価値が

見つかかり、磨かれ、まちの価値が創られていく。「都会でもなく、田舎でもない、ちょうどいい長崎らしい暮らしやすさ」＝「長崎ライフ」がより豊かなものになることで、まちで暮らす人にも、まちを訪れる人にも魅力的なまちとなり、持続可能な地域社会の構築につながるものとする。

## 一般報告 何度も訪れたいくなる場所 都市の新たな魅力と関係人口

島根県立大学地域政策学部准教授 田中 輝美

鳥取市用瀬町の事例。1947年から2021年人口が80%減り高齢化率56% 「日本全体の人口のパイが減っていく中で、地方同士が人口を奪い合っても仕方ない。まちを面白くしていけるのは、まちにいつも住んでいる人だけではないはず。だからこそ『人口をシェアしよう』」

と、大学のゼミ合宿や個人客を受け入れ、地元の住民に交じって地域・集落の年中行事に参加する仕掛けだけでなく、希望に合わせて地域の一員として得意なことや好きなことを生かした、イベントを企画実施するなど、週末住人を観光以上、定住未満の、「関係人口」に選ばれている。

これらを考えるヒントは

- ① 名前が覚えられる規模
- ② 準備から片付け、打ち上げまで一緒に行く、脱「お客様は神様」
- ③ 住民の想いや背景も伝えることでストーリー化される

背景にある変化は、「地域変化」（人が減って開放性を持つ）＋「若い世代の変化」（つながりに関心を持つ）＝「新しい潮流」

{ふるさと難民} 東京生まれ東京育ち、近所に顔見知りがない。愛着が持てない。ふるさとのようなつながりにあこがれる。

「選ばれる」ための新しいインフラは、人との関係を作る窓口「関係案内所」（ゲストハウス・カフェ・コワーキングスペース・シェアハウス・シェアオフィス）と、関係案内人を中心としたコミュニティと公共交通機関、最低限のネット環境。まちの課題や戦力を把握し、関わりがいのあるチームを、どう作っていけばよいかから始めること。

## 一般報告 ビジョンを活かしたまちづくり ～「選ばれる山形市」を目指して～

山形県山形市長 佐藤 孝弘

山形市が「選ばれるまち」となるために、他にはないまちの魅力として、ビジョンを内外に打ち出し、具体的な施策のリンクにこだわるのが重要と考える。「健康医療先進都市」「文化創造都市」を2大ビジョンとして、積極的な施策展開を行う。

「健康医療先進都市」では、「歩くこと」をベースにした健康で暮らしやすいまちづくりで、「山形五堰」を活用し歩いてまちを回遊したくなるようなまちづくりを進めている。地下水還元方式無散水消雪システムを導入し、冬でも歩道に雪が積もらないため、冬でも歩きやすいまちづくりを実現しようとしている。

公共交通の充実による徒歩の補完の展開をしている。「徒歩＋自転車＋公共交通＋コミュニティ交通」をうまく組み合わせ、自家用車に頼らなくても生活ができるまちづくりをすすめている。

「文化創造都市」では、「山形国際ドキュメンタリー映画祭」「山形交響楽団」「本格的な茶室」等の「文化資産」に多くの人に関わり、広く市民と共有する「山形文化創造都市推進条例」を制定した。文化芸術活動を持続的なまちづくりにつなげるチャレンジをしている。

将来ビジョンと結び付けた各種政策を展開した結果、まちが向かうべき方向性がはっきりし、市民や企業が連動して同時多発的に様々な取り組みが進むという現象が起きている。引き続き2大ビジョンに基づき都市ブランド力の向上と持続可能なまちづくりを目指す。

## 一般報告 「交流の産業化」を支える景観まちづくり

～長崎市景観専門監の取り組み～

(一社) 地域力創造デザインセンター代表理事 高尾 忠志

100年後の長崎をより良いものにするため、1つ1つの事業の質、その質を高めるための1つ1つの協議、そこに関わる1人1人の働きが丁寧に積み重なっていくようコーディネートすることが重要。ただ道路をつくるだけであれば1の価値なのが、少しの工夫と何かをプラスすることで、価値が10になる。1年では気づかないことも10年経つと、個々のプロジェクトの集積でまちが大きく変化し、まち全体の価値が百、千のプラスになる。

個々の公共事業によって、長崎のまちに『価値』を想像することがミッションの、「景観専門監」を設置。①長崎市が行う公共事業のデザインの指導と管理 ②長崎市職員の育成の2点を一体的に進める。

「地域の価値創造を目指す行政組織」が乗り越えるべき課題は

- ① 事業の縦割り。まちを総体的に意識して個々の事業を検討するアプローチが求められており、そのためのデザイン監修や事業案調整を行う主体が事業の現場に必要。
- ② 時間、ビジョンを念頭において現場での微調整を積み重ねる「地道なデザイン調整」が全体としての質の向上に大きく貢献する。
- ③ 人材、職員は予算や工期補助金の縛りなど統制力の高い環境にあり、往々にして価値を想像し、創造する意識が欠如している。地域の歴史、場所の履歴、周囲に見えるもの、地区住民の願い、利用者ニーズ、市全体のビジョン、関係者の都合、そうした文脈を総合的に読み解きながら、あるべき調整の姿を検討する。そうした「当たり前のこと」をきちんと丁寧にやる。そのためにこそ「問う」存在が必要。

職員育成という「人的資本」人のつながりという「社会関係資本」に投資する自治体戦力としても、「景観専門監」は意義深い仕組みだ。

### 第2日 10月14日(金) パネルディスカッション

【テーマ】 個性を活かして「選ばれる」まちづくり

～何度も訪れたい場所になるために～

【コーディネーター】東京都立大学法学部教授 大杉 覚

【パネリスト】ゆとり研究所所長 野口 智子

山梨大学生命環境学部教授 田中 敦

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也

兵庫県伊丹市長 藤原 保幸

#### 大杉氏「選ばれるまちづくりに向けた都市自治体のアプローチ」

訪れる人々に根っこにある地域価値をダイレクトに感じさせられるような、その都市ならではの独自の「適密」戦略(=創造的な営みができるだけの適度な距離間でコミュニケーションが成り立つ社会を実現させる方策)を構築できるかどうかポイントになる。都市にの未来図の形式にコミットできるような余白と手掛かりを意識的に提供し、価値実現のプロセスを享受できるように工夫できるかどうか次第で決まる。

#### 野口氏「人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ～雲仙人プロジェクトの試み～」

住んでいる人同士が深く知り合って、お互いを尊重し、しなやかなスクラムを組む。その居心地の良さによそ者を混ぜてあげる。そうなるのがまず基本。何か志を持っている人たちがもつとつながらなくては。人は日々変化します。人と人がいい出会い方をすると、もっといい変化が起きます。人が人を磨いていくと思う。そういう変

化をしていく人がたくさんいる町こそが魅力的だと思う。

#### 田中氏「ワーケーションの意味の拡張と変異」

仕事を外に持ち出すことで長期の滞在、複数回の訪問を促す様々な活動をライフスタイルとして定着させれば、結果的に移動を促進し、旅行需要を拡大していくための総合的な施策になる。一方で、コロナ禍の副産物として生まれた新たな価値観や生活パターンが旅と居住、仕事とプライベート、都心と地方、といったそれぞれの境界を溶解していき、まさにワーク&ライフスタイルの変革を加速させている。個人、自治体、企業それぞれが何を大切にするかという視点を整理し連携しながら、ワーケーションの利点を上手に育てていくことが大切。

#### 桐野氏「人は人に会いに行く！まち歩きで見つけた「まちのつくり方」

時代は、団体旅行から個人旅行へ、物見遊山から体験型へ、男性主体から女性主体へ、観光に求められるものが変わる中、「長崎さるく博」が目指したものは、体験型の「まち歩き」まちそのものをパビリオンに見立て、古くから世界の交流のまちとして栄え、心の中に秘められていた「交流の遺伝子」を呼び覚まして、訪れる人々を市民ガイドするというお節介な町ならではの企画。低予算で大きな経済効果を生み出す空前の大ヒット。観光客はガイドの案内のもとに、まちを歩くことで、そこにある小さな幸せを見つけ、記憶をたどり、自分の経験、まち、ふるさとに重ねて共感する。「まち歩き」は、違う土地で自らの幸せを再確認する行為、あるある探し、自己肯定感の場になり、共感が多いとその「まち」を好きになってリピーターとなって戻ってきてくれるのではないか。物は作らなかったが、ガイド500人という、「人」が残った。市民が関わるまちづくりになった。

#### 都竹氏「人口減少先進地の挑戦～ファンと共に取り組むまちづくり～」

人口減少を不可避な現実と真正面から受け止め、それを前提に地域づくりを考える。移住はしなくとも、心を寄せ、力を貸してくださる方々と交流を深めることが地域の力となる。「飛騨市ファンクラブ」を設立。困難と思える地域課題解決の中に「楽しい、嬉しい、面白い」を見つけ、追求し、世の中の皆さんを頼って、楽しく集い、語りながら前向きにチャレンジするムードを作る。その積み重ねの中に、人口減少時代を生き抜く知恵とエネルギーが生まれてくる。

#### 藤原氏「清酒発祥の地・伊丹～酒と文化が薫るまち～」

商業者・事業者が主体となり、お酒にちなんだイベントが多数開催され、にぎわう。市民が愛着や誇りを持つ事業が、若い世代や子どもたちに引き継がれ、来訪者の方々にも一緒に参加いただくことでさらなるにぎわいが創出され「何度も訪れたいまち」になると考える。

#### まとめ

人が育つには、研修ではなく、みんなで、いつまでに、誰がやるか、決める。具体的に動くことで結果が見えてうれしくなる。来た人も汗をかいて育って帰る。育ちあっていく。

お客さんではなく、準備からイベント片付けまで、関わることで何度でも訪れたいまちに選ばれる。まちには、人材はいるがつながっていない。つながることで人が育つ。何も立派な観光のものを作らなくても、まちの魅力・価値を引き出すことができる。気づきが必要。市民がわがまちに誇りをもって、好きになる仕掛けができたらと思う。つながるためには集まること。研修ではなく人柄が分かるような集いを定期的に行う事。今後の施策に活かしていきたいことがたくさん学べた会議だった。



参考 第3号様式 (第13条関係)

令和4年度政務活動費会計帳簿

NO1

議員氏名 川嶋 恵美

(単位:円)

年月日	摘要	収入	支出	残高	科目	領収書 番号
R4. 4. 20	令和4年度交付分	150,000		150,000		
R4. 7. 30	全国都市問題会議交通費		35,080	114,920	研修費	5
R4. 9. 27	JIAMセミナー参加費		6,900	108,020	研修費	1
R4. 9. 27	JIAMセミナー参加費手数料		440	107,580	研修費	2
R4. 10. 3	JIAMセミナー参加交通費		5,170	102,410	研修費	3
R4. 10. 3	JIAMセミナー参加交通費		530	101,880	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 4	JIAMセミナー参加交通費		5,170	96,710	研修費	4
R4. 10. 4	JIAMセミナー参加交通費		530	96,180	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 12	全国都市問題会議交通費		530	95,650	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 12	全国都市問題会議交通費		830	94,820	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 12	全国都市問題会議交通費		1,000	93,820	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 13	全国都市問題会議交通費		140	93,680	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 13	全国都市問題会議交通費		140	93,540	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 13	全国都市問題会議参加費		10,000	83,680	研修費	6
R4. 10. 14	全国都市問題会議宿泊料		19,400	74,140	研修費	7
R4. 10. 14	全国都市問題会議交通費		140	83,540	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 14	全国都市問題会議交通費		1,000	73,140	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 14	全国都市問題会議交通費		830	82,710	研修費	参考第2号様式
R4. 10. 14	全国都市問題会議交通費		530	72,610	研修費	参考第2号様式
合計		150,000	88,360	61,640		

※領収書差額分  
240円は自費負担

参考 第2号様式 (第9条関係)

領収書等を徴し難い事情があった支出の明細書

支出年月日	支出の金額 (円)	支出の目的	領収書その他の支出を証すべき書面を徴し難かった事由
10月3日	530円	乗車券	ICカード利用
10月4日	530円	乗車券	ICカード利用
10月12日	530円	乗車券	ICカード利用
10月12日	830円	乗車券	ICカード利用
10月12日	1,000円	乗車券	直接料金箱に支払い
10月13日	140円	乗車券	直接料金箱に支払い
10月13日	140円	乗車券	直接料金箱に支払い
10月14日	140円	乗車券	直接料金箱に支払い
10月14日	1,000円	乗車券	直接料金箱に支払い
10月14日	830円	乗車券	ICカード利用
10月14日	530円	乗車券	ICカード利用

議員氏名 川嶋 恵美

注「支出の目的」の欄には、支出の目的（乗車券、講師謝金等）を記載ください。

旅費精算内訳書

氏名	川嶋 恵美
目的	令和4年度「トップマネジメントセミナー」
行き先	全国市町村国際文化研修所
期間	令和4年10月3日～令和4年10月4日（1泊2日）

交通費内訳

月日	種別	明細	金額(円)
10/3	地下鉄	日進駅 → 名古屋駅 (運賃/ 530円 特急料金/ )	530
	JR	名古屋駅 → 唐崎駅 (運賃/ 特急料金/ )	5,170
		←→ (運賃/ 特急料金/ )	
		←→ (運賃/ 特急料金/ )	
10/4	JR	唐崎駅 → 京都駅 (運賃/ 240円 特急料金/ )	240
	JR	京都駅 → 名古屋駅 (運賃/ 特急料金/ )	5,170
	地下鉄	名古屋駅 → 日進駅 (運賃/ 530円 特急料金/ )	530
		←→ (運賃/ 特急料金/ )	
/		←→ (運賃/ 特急料金/ )	
		←→ (運賃/ 特急料金/ )	
		←→ (運賃/ 特急料金/ )	
		←→ (運賃/ 特急料金/ )	

交通費小計	11,640円
宿泊料	※宿泊料は研修参加費6,900円に含まれています
実績合計額	11,640円
政務活動費充当額	11,400円
差引額	※JR唐崎駅→京都分240円は自費負担 240円

※ 種別は、飛行機、JR、鉄道、地下鉄、バス、車等を記入のこと。

旅費精算内訳書

氏名	川嶋 恵美
目的	第84回全国都市問題会議
行き先	長崎県長崎市
期間	令和4年10月12日～令和4年10月14日（2泊3日）

交通費内訳

月日	種別	明 細	金額(円)
10 /	地下鉄	日進駅 → 金山駅 (運賃/ 530円 特急料金/ )	530
	鉄道	金山駅 → 中部国際空港 (運賃/ 830円 特急料金/ 360円 )	830
	飛行機	中部国際空港 → 長崎空港 (運賃/ 20,040円 特急料金/ )	20,040
12	バス	長崎空港 → 大波止 (運賃/ 1,000円 特急料金/ )	1,000
10 /	鉄道	大波止 ↔ 長崎駅前 (運賃/ 280円 特急料金/ )	280
		↔ (運賃/ 特急料金/ )	
		↔ (運賃/ 特急料金/ )	
13		↔ (運賃/ 特急料金/ )	
10 /	鉄道	大波止 → 長崎駅前 (運賃/ 140円 特急料金/ )	140
	バス	長崎駅前 → 長崎空港 (運賃/ 1,000円 特急料金/ )	1,000
	飛行機	長崎空港 → 中部国際空港 (運賃/ 15,040円 特急料金/ )	15,040
14	鉄道	中部国際空港 → 金山駅 (運賃/ 830円 特急料金/ 360円 )	830
	地下鉄	金山駅 → 日進駅 (運賃/ 530円 特急料金/ )	530

交通費小計	40,220 円
宿泊料	19,400 円
実績合計額	59,620 円
政務活動費充当額	59,620 円
差引額	0 円

※ 種別は、飛行機、JR、鉄道、地下鉄、バス、車等を記入のこと。

領収書番号1

## 領 収 書

日進市議会議員 川嶋 恵美 様

金額 6,900 円

但し、

令和4年度トップマネジメントセミナー～災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて～

の 研修に要する経費  
として上記の金額を領収いたしました。

令和4年9月27日

〒520-0106  
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所  
分任出納役

領収書No. 247

領収書番号2

**自動機ご利用明細票**

(名古屋銀行)をご利用いただきありがとうございます。  
ご利用明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

お取引内容	お取引日	お取引時刻	振替
振替振込	04-09-27	09:02	13
銀行番号	店番号	科目・口座番号	お取引店等
054302621-			0017
万円	千円	お振込額	お取戻店
*****	*****	*****	0262
ご利用手数料	お取引の金額		
*****440円	*****6,900円		
	お取引後の残高		
	*****円		
振込日: 04-09-27			
お受取人 みずほ銀行 大津支店 普通 サビ)セブソクサチヨウリソケンシユサ様 ご依頼人 TEL カワシマ イミ			

**名古屋銀行** (ご利用明細票は、直接日光等に長時間あてますと変色することがございます。)

領収書番号3

領収書番号4

駅-No 51301160 領収書No 46  
窓口-No 9

領 収 書  
日進市議会議員  
川嶋 恵美 様

金額 ￥5,170円  
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2022年10月 3日  
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

名古屋駅 現金出納社員

領収書No 22  
窓口-No 5

領 収 書  
日進市議会議員  
川嶋 恵美 様

金額 ￥5,410円  
「消費税等込み」

但し、乗車券類代金として

上記金額確かに領収致しました

2022年10月 3日  
株式会社ジェイアール東海ツアーズ

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき京橋  
税務署承認済

名古屋支店 担当者

内訳 政務活動費分 5,170円  
自費分 240円

## 領収書

WEB 666d3d8392-KXJ7W-173617-1-1100

表示日 2022年07月30日(土)

川嶋恵美

様

金額 ¥35,080- (税込)  
クレジット支払い  
(消費税10%対象 ¥35,080- (税込))

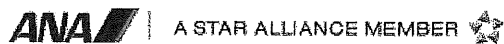
航空券番号	1010327447373016	1010327447373020
照会番号	QEBV8X	

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2022年07月30日(土)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

## 航空券明細

WEB 666d3d8392-KXJ7W-173617-1-1100

表示日 2022年07月30日(土)

ご搭乗者名/照会番号

カワシマ エミ様 (QEBV8X)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2022年10月12日(水)	ANA371	名古屋(中部) - 長崎	普通席	スーパーバリュー55 H	¥20,040-	2022年07月30日(土)
2022年10月14日(金)	ANA374	長崎 - 名古屋(中部)	普通席	スーパーバリュー75 J	¥15,040-	2022年07月30日(土)

合計金額

¥35,080-

領収書番号6

No.0940

会議参加費 領収書

川嶋 恵美 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和4年 10月 13日

第84回全国都市問題会議実行委員会  
会長

領収書番号7



領収書

No. 134709 643 22/10/12 16:21

[DB]

部屋No.

ご利用期間 2022/10/12~2022/10/14

お名前	カワシマ エミ 様
ご請求額	19,400 円
ご入金額	19,400円

上記金額を領収致しました。

◆ご利用明細◆

10/12 ご宿泊代	19,400円
(内消費税)	1,763円)
合計	19,400円
10%対象	¥19,400
(内消費税)	¥1,763)

※印がついている商品は軽減税率対象となります。

Hotel Belleview Nagasaki Dejima

長崎県長崎市江戸町1番20号  
TEL : 095-826-5030  
FAX : 095-826-5051

印紙税申告納  
付につき長崎  
税務署承認済